



地域の交通安全に貢献 全国交通安全功労者表彰

10月12日(休)、森下紀裕さん(中尾)が全国交通安全功労者として内閣府特命担当大臣から表彰を受けました。昭和52年から交通指導員として、登下校時の街頭指導や交通安全運動に積極的に参加し、本町の交通事故防止に貢献されています。森下さん「受賞できてとてもうれしいです。これからも津奈木町の交通安全に尽くしていきたいです」と話していました。



地域の防犯に貢献 全国防犯功労者表彰

10月17日(月)、水俣警察署で全国防犯功労者表彰が開かれ、吉野芳子さん(日添)が銅賞を受賞しました。吉野さんは水俣地区少年補導員として活動するほか、街頭補導活動などに積極的に参加。つなぎろっぼうパトロール隊の一員として、地域の防犯や青少年の非行防止・健全育成に大きく貢献しています。

野外で食・音楽・映画を楽しむ 三ツ島ナイト

10月9日(日)、三ツ島ナイトが旧平国小学校で開かれました。会場では、グリーンカレーや新鮮な魚介類を使った海鮮焼きなどの飲食物を販売。ステージイベントでは、和太鼓とギターを掛け合わせた演奏や巨大スクリーンでの野外シアター上映が催され、参加者は開放的な空間で食事や音楽、映画を楽しみました。



↑野外上映を満喫する参加者

革命家が語る芸術表現の可能性と限界 外山恒一トークセッション

現在、つなぎ美術館で開催している秋の企画展「光と影のアンソロジー この世界にただ独り立つ」の出展者の一人である外山恒一さんのトークセッションが10月15日(土)、つなぎ文化センターで開かれました。外山さんはゲストと、出展までのいきさつやこれまでの活動などをテーマに話しました。同企画展は、11月13日(日)までです。



↑外山さんの話で会場は大いに盛り上がりました

↓表彰を受けた齋藤さん(前列中央)



交通モラルの向上に貢献 地域交通安全推進表彰

9月22日(木)、水俣警察署で齋藤誠さん(桜戸)が交通安全功労者として水俣警察署長と水俣地区交通安全協会会長から表彰を受けました。齋藤さんは、地域交通安全推進委員を20年務めています。交通安全の理解を深める活動のリーダーとして、ボランティアの人たちに法律上の資格を与え、地域の交通モラルの向上に尽力しています。



小学校のクラブ活動のために サラダ玉ねぎ収益金寄付

10月2日(日)、JAあしきた青壮年部から津奈木小学校PTAに寄付金が手渡されました。5月に津奈木保育園近くの畑で収穫したサラダ玉ねぎをインターネット通販サイト「豊洲市場ドットコム」で販売し、その売り上げの一部を同校や社会体育クラブに寄付していただいたもの。部長の林辰徳さん(倉谷)は「子どものために役立ててもらえたらうれしい」と話していました。

美しい海を守るために 海ごみゼロフェスティバル&水辺の安全教室

9月19日(月)、B&G艇庫周辺で海ごみゼロフェスティバルと水辺の安全教室が開かれました。参加した海洋クラブ員の子どもたちは干拓周辺のごみ拾いをした後、海洋ごみが生態系に与える影響や水辺の危険性、溺れたときの対処法などを紙芝居を使って学習。指導員が実際に海に入り、子どもたちが学んだことを実演しました。



↑みんなで協力し、たくさんごみを拾いました

冬の大根収穫が楽しみ! 津奈木中学校大根種まき体験

9月30日(金)、中尾地区の畑で津奈木中学校1年生29人が大根の種まきを体験しました。これは、町が進める「つなぎFARM」の取り組みの一つで、生徒に農業の素晴らしさや食の大切さを学んでもらおうと、JAあしきた津奈木青壮年部が行っています。この大根は無肥料・無農薬の自然栽培で育てられ、12月ごろに生徒が収穫し、寒漬大根を作ります。



↑大根の種をまく生徒。収穫が楽しみです